

IBD 患者における妊娠・出産の患者さん向けパンフレット改訂

研究分担者 穂苅量太 所属先 防衛医科大学校内科学 役職 教授

研究要旨：IBD は生殖年齢に好発し、投薬を受けながら妊娠する患者も多い。妊娠中の内服に対する教育がされていないと、自己判断による内服中断などにより妊娠転帰を不良化させる懸念がある。2015年発刊の妊娠パンフレットは、これらの問題に一定の効果を提供してきた。この数年 新規薬剤が上市、免疫調整剤の禁忌解除等 新しい重要な情報が現れ、改訂の必要が迫られ着手した。

共同研究者

成松和幸（防衛医科大学校消化器内科）

平岡佐規子（岡山大学医学部）

内野 基（兵庫医大）

長堀正和（東京医科歯科大学）

村島温子（国立成育医療研究センター）

石毛 崇（群馬大学大学院医学系研究科小児科学）

長沼誠（関西医科大学内科学第三講座）

日比紀文（北里大学北里研究所病院）

小金井一隆（横浜市民病院）

クコメントを募集し、さらに反映させた。完成終了し公開準備中である。

D. 考察

最新の情報を盛り込んだ冊子を完成させた。出生率の向上や、妊娠転帰の向上に寄与する可能性がある。

E. 結論

IBD 合併妊娠者にとって、極めて重要な情報源となる冊子を改定させた。

A. 研究目的

2015年発刊の妊娠パンフレットは、IBDの女性患者に妊娠に関する知識を伝える情報源として極めて有用であったが、発刊後の新しい情報を加えた改訂を施し、最新の情報を伝える。

B. 研究方法

改訂メンバーで最新の情報をリサーチし、最新の情報にbrush upする。さらに班会議メンバーでパブリックコメントを求める。

（倫理面への配慮）

内容に問題ないか メンバー、班会議構成者で確認する。

C. 研究結果

全ての項目で改訂作業を実施した。パブリッ

F. 健康危険情報

なし

G. 研究発表

1. 論文発表

なし

2. 学会発表

なし

H. 知的財産権の出願・登録状況

（予定を含む）

1. 特許取得

なし

2. 実用新案登録

なし

3. その他
なし